

自己評価報告書

平成23年4月28日現在

機関番号：13201

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008年度～2011年度

課題番号：20520614

研究課題名（和文） 近世朝鮮におけるイエズス会宣教師作製世界図の伝来とその受容に関する研究

研究課題名（英文） Research on the introduction and acceptance of a World Map which The Jesuit missionary in the Chosen Dynasty

研究代表者

鈴木 信昭（SUZUKI NOBUAKI）

富山大学・人文学部・教授

研究者番号：50206512

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：朝鮮史・イエズス会

1. 研究計画の概要

・本研究計画の概要は、以下の三点を中心に進められている。

(1)朝鮮にいつ頃、誰によってイエズス会士が作製した世界図や地理書が伝えられたのか、17世紀初頭から18世紀末までの200年間について、個別具体的に明らかにする。

(2)イエズス会士が作製した世界図、ならびにその模写図について、韓国と日本における所蔵調査を行い、それらについて書誌学的分析を行うと同時に、模写図作製の意図やその作製年代を明らかにする。

(3)それら世界図に言及した記録を史料から抽出し、朝鮮の知識人が世界観を持つようになったのか明らかにする。

2. 研究の進捗状況

(1)朝鮮にいつ頃、誰によってイエズス会士作製世界図が持ち込まれたのか、という問題については、これまでのところ、17世紀末頃までに朝鮮政界で活躍した士大夫の文集を調査することにより、その具体的事例はほぼ把握されている。しかし、18世紀の時期については、これまでのところ研究は未着手の状態である。

(2)イエズス会士作製世界図の所蔵については、日本・韓国とも調査済みであり、またその模写図についても、ほぼ現存の状況が把握できている状態である。

しかし、国立国会図書館所蔵のマテオ・リ

ッチ『天文図』（抄本）のように、内容はリッチの天文書でありながら、巻末にジュリオ・アレニ『職方外紀』掲載の「坤輿全図」を模写しているものがあるなど、単純に、タイトルをもとにして現存を確認できないものがあるため、今後とも資料館を訪ねて研究の継続をはかっていきたい。

(3)イエズス会士作製世界図に言及した朝鮮士大夫の記録は、士大夫の書き残した文集を調査することにより、これまで明らかにされてこなかった事例が少なからず発見されてきている。しかし、こちらも18世紀以降に活躍した士大夫については、未だ未着手であるため、今後研究を継続していきたい。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

これまで研究史料として利用されることが少なかった、朝鮮士大夫個々人の文集を網羅的に調査することで、これまで全く言及されることがなかった、個別の事例が多々見つかっているからである。

4. 今後の研究の推進方策

これまでの研究推進の方法を踏襲していきたい。しかし、士大夫個々人の文集の分析に時間がとられるために、さらに集中的に調査していきたい。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 1 件）

- ・鈴木信昭「朝鮮光海君時代の儒学者が見た漢訳西学書」『明清史研究』（査読無）第 5 輯、2009 年、55-97 頁

〔学会発表〕（計 0 件）

〔図書〕（計 1 件）

- ・共著『海域世界のネットワークと重層性』、桂書房、2008 年、1-269 頁、所収
鈴木信昭「17 世紀初頭朝鮮に伝えられた世界地理情報：海域世界・大陸世界からの情報」68-10 頁

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕